

第16期事業報告

2024年9月1日～2025年8月31日

公益社団法人

日本サードセクター経営者協会

I 基本方針

サードセクター組織の経営の責務を負う人材が広く地域や事業の種類を越えて横断的につながり、互いに知見を学びあい(つなぐ)、互いに切磋琢磨して経営力を高め(伸ばす)、声をだし、さまざまな提言活動を行う(提言する)ことにより、日本が直面する多くの社会的課題の解決に向けて、サードセクター、企業セクターならびに行政セクターが、それぞれ適切な役割を果たしながら連携し、多元的な社会の実現を目指すことを目的としています。

1. 事業に関する方針

サードセクター組織の経営者の能力開発事業(つなぐ事業)

日本の特定非営利活動法人設立数は49,485法人(2024年度末)、解散数23,542法人(2022年度末)であり、特定非営利活動法人の数は増えていません。一般法人数は74,683法人(2021年3月末)と急増しています。事業型NPOの一部は一般法人や社会福祉法人へと移行する傾向があります。新しく非営利組織を起業されるかたは一般法人を選択してきています。任意団体や特定非営利活動法人への支援として、全国に約500の市民活動センター等がありますが、どちらかという则会費・寄付・少額の助成金・ボランティアで活動しているNPOが登録団体であり、それらのNPOに対するサービスメニューが多く提供されています。一般法人も支援対象になっているNPOセンター等がありますが、積極的に支援をしていない状況です。

当法人が目指す社会的価値と経済的価値を創出するサードセクター組織を運営していくことは、極めて困難です。サードセクター組織の経営者はぶれない信念とたゆまぬ努力にて、まだまだ孤軍奮闘しているのが現状です。また、第1世代から次世代へのリーダー交代も始まっていますが、次世代は、自ら社会的価値と経済的価値の双方を創出するために非営利組織の経営に関し、工夫や努力をしてきているわけではないので、営利組織のコンサルタントに依存し、表面的な助言を受けると、たすけあい事業等赤字事業はやめて収益性の高い事業のみを実施するサードセクター組織もあります。

これらのサードセクター組織の経営者が悩みを相談し、互いに切磋琢磨して質の向上を目指すための機会をつくるために、テーマ別や地域別での部会活動やテーマ別セミナーを開催し、セミナー後の意見交換や交流の機会をつくりました。

サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援事業 (伸ばす事業)

多角的福祉事業の創出

高齢者に対する活動分野では、サードセクター組織が制度内サービスと制度外サービスを組み合わせ利用者目線のサービスの提供をしています。ただし、こども分野や、就労支援に関しては縦割りのサービスにより、利用者の自立に向けた、ひとり一人に寄り添ったサービスが提供できていないのが現状です。法人16期においても法人15期に引き続き、特にこども分野や就労支援分野で多角的福祉サービスを創出できるサードセクター組織の基盤強化支援を行いました。収益構造において「もらう」だけでなく「稼ぐ」ためのコンサルティングを重視しました。

サードセクター組織の起業支援・経営支援

対価を得にくい活動をしながらか基盤を強化し、有給職員を雇用し、事業を継続することは決してたやすいことではありません。NPO等の経営の課題は多く「活動支援の不足」は誰もが課題であると言います。ところが、それは課題ではなく当たり前のことであり、ミッション・ビジョン達成のために有効な事業を考え、多様で多彩なファンディングの工夫と実践を継続できるかどうかの「人材確保と育成」の問題です。その具体的な実践力を高めつつ、共有していくことが重要です、第1世代から次世代へのバトンタッチは進んでいますが、課題は繰り返し、なかなか前に進んでいません。少し少しは前に進んでいますが、「同じ課題で悩み、愚痴を言い」「愚行の繰り返し」が耳にはいつてきます。第1世代の社会的価値と経済的価値の創出のための経営努力が継承されず、「悩み」「課題」のことが継承されていきます。

事業型NPOを目指すサードセクター組織のリーダーに対するサードセクター組織の起業や経営支援に関するセミナー等を開催し、サードセクター組織の経営の知識と経験の伝承に努めました。少しずつ、前に進んでいくことの応援をしました。

サードセクターの在り方に関する調査、研究と提言事業 (提言する事業)

子育て分野で活動するサードセクター組織のリーダーにより、現在のこども分野行政サービスに関し、および行政との協働について、改善すべきことなどを意見交換し、「こども家庭庁」に提言を行いました。

2. 運営に関する方針

本部と東海支部が連携し、全国各地のサードセクター組織の経営者と連携を取りながら、日本全国でのサービス展開を図り、JACEVO の理念実現に向けて活動していきます。

II 事業報告

1. サードセクター組織経営者の能力開発事業

1) 部会活動

iSB 公共未来塾は 2010 年より開催しています。社会性の高い活動をしているサードセクター組織の経営者や iSB 公共未来塾の卒業生をゲストに招いてお話しを聞いたり、互いの経験を交流しました。

(1) こども家庭庁への提言に向けた意見交換会 (子育て部会)

日程：2025 年 4 月 4 日 (金) 13:00～16:30

場所：オンライン

内容：2025 年 1 月 25 日に開催したセミナーでは、参加者が捉えている地域課題、そのためのサービス創出、行政との関係性等について意見が出されました。これらの議論をさらに深め、意見交換を行いました。その内容を整理し、こども家庭庁に提言しました。

参加者：6 名

(2) 地域部会 (三豊市)

日程：2025 年 4 月 9 日 (水)、10 日 (木)、7 月 12 日 (土) 12:00～17:00

場所：みとよ未来創造館

内容：まちづくり推進隊の役員や事務局員が集まり、NPO の経営について学び、今の三豊の課題、有効な事業についてワークショップを行い、今後

の戦略を検討しました。

参加者：32名

2) 年次大会

(1) 多角的福祉事業体応援セミナー

2025年1月25日(土)、2025年3月7日(金)の2回にわけて開催しました。

① 日時：2025年1月25日(土) 13:00～16:30

会場：オンライン

参加数：16名

内容、講師

- ・ こども家庭庁のビジョンと取り組み
中原 茂仁氏　こども家庭庁 長官官房参事官(総合政策担当)
- ・ 事例報告
特定非営利活動法人子育て支援グループamigo (東京都世田谷区)
特定非営利活動法人 a little (兵庫県西宮市)
特定非営利活動法人どんぐりの会 (三重県津市)
- ・ 多角的福祉事業体創出の意義と現状、今後の課題
藤岡喜美子 公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事
- ・ 【トークセッション】日本における多角的福祉サービスの広がり

② 日程：2025年3月7日(金) 13:00～16:30

会場：オンライン

参加数：17名

内容、講師

- ・ ソーシャルファームの取り組み
末廣 康二氏 公益財団法人東京しごと財団 企業支援部企業支援課長
- ・ 事例報告
認定特定非営利活動法人 ReBit (東京都新宿区)
特定非営利活動法人いわき自立生活センター (福島県いわき市)
あたつく福祉型事業協同組合 (奈良県奈良市)

- ・日本におけるソーシャルファームの広がり

藤岡喜美子 公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事

- ・【トークセッション】日本における多角的福祉サービスの広がり

子育て編と就労支援編として2回にわけて多角的福祉事業体応援セミナーを開催しました。実践者によるプレゼンと参加者からの質問や意見をお聞きしました。福祉サービスは、行政サービスによる縦割りのサービスの提供でなく、利用者目線にて、多角的にサービスを提供することが重要であり、同時に公的資金と民間資金を活用し、基盤を強化していくことも求められます。日本における、多角的福祉事業体が多く創出される、その成果、創出のための課題の洗い出し、経営について意見交換を行いました。

2. サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援事業

1) 地域社会雇用創造事業

(1) DX等活用セミナー

日程：2024年11月16日(土) 10:00～12:00

会場：オンライン

参加者：2名

内容

- ・DXの定義と小規模事業者における重要性
- ・各種SNSを活用したマーケティング
- ・ウェブマーケティング戦略について
- ・カスタマーエクスペリエンスの向上

講師

丸山恵子さん WOMANET株式会社 代表取締役

(2) NPO入門講座

日程：2025年6月5日(木)、7月3日(木)、8月7日(木)

会場：アキシマエンス 校舎棟 会議室、オンライン

参加数：延べ65名

内容

6月5日 NPOとは？ ボランティアとの違い

7月3日 NPO法の誕生とNPO歴史

8月7日 NPOへの期待と広がり、NPOの経営の特徴

NPO等の活動を始めたが、NPOは「稼いではいけない」という認識や、税法と法人法における収益事業、非収益事業の間違った認識などで、事業型NPOは、誤解を受ける場合が多く、経営にあたりサードセクターのリーダーが翻弄される場合が多くあります。また、新たにNPO等の活動を始める新しいリーダーに対してのNPOの基礎を学ぶセミナーの機会も少ない状況です。NPOを正しく理解するために、NPO等のリーダー、スタッフ、関係者に対し、NPOの基礎、歴史、成長のためにどうすればよいか等の連続セミナーを開催しました。

また、NPOの経営に活用できるツリー型ロジック・モデル・シート、ビジネスモデル・シートの作成方法、ビジネス・モデルシート作成においてはフルコストの考え方と回収についても講義とワークを行いました。法人17期においても連続して行っています。

講師

藤岡喜美子 公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事

(3) NPOの信頼性と力量拡大を目指して

日程：2025年7月27日（日）13:00～16:30

会場：オンライン

参加者：39名

内容、講師

- ・開会挨拶、趣旨説明

後 房雄氏 公益社団法人日本サードセクター経営者協会 代表理事

- ・「ガバナンス・コンプライアンスについて学びましょう」

太田達男氏 公益財団法人公益法人協会

- ・「助成金の出口戦略と助成金の活用」

山田泰久氏 公益財団法人日本非営利組織評価センター

- ・トーク「NPOへの信頼性向上と力量拡大」

太田達男氏、山田泰久氏、後房雄氏、藤岡喜美子氏

(4) セミナーとインターンシップ事業

① アン트レプレナーシップ型インターンシップセミナー

日程：2024年9月4日（水）10:00～12:00

会場：日本工学院専門学校 蒲田キャンパス

参加者：55名

講師

佐藤大吾氏

武蔵野大学 アン트レプレナーシップ学部 教授

公益財団法人日本非営利組織評価センター 理事長

② サードセクター組織へのインターンシップ事業を行いました。

協力組織 7事業体

インターンシップ生 48名

2) フルコストリカバリーセミナー

NPO向けの連続セミナーや講師に招かれたときに、フルコストとは何かという理解、フルコストの回収の必要性を啓発しました。

3) 自主セミナー

(1) 補助金・助成金セミナー

日程：入門編 2024年11月10日（日）10:00～12:00

実践編 2024年11月17日（日）10:00～12:00

会場：オンライン

参加者：12名

内容

入門編（120分）

1. はじめに
2. 補助金・助成金・給付金のちがい
3. 必ず出てくる基本用語
4. 補助金・助成金のラインナップ
5. 補助金を有効活用するために
6. 質疑応答

実践編（120分）

1. 初級編（入門編）のおさらい
2. 補助金申請の手順
3. 採択後の手続き
4. 審査に通る事業計画書作成のポイント
5. 申請サポート業者選びの注意点
6. 質疑応答

講師

田淵理恵子 株式会社 Farm（ファーム）代表取締役

田淵真吾 株式会社 Farm（ファーム）取締役

(2) NPO向け助成金活用セミナー（オンライン）

日時：初級編 2024年12月12日（木）19:00～20:30

中級編 2024年12月18日（水）19:00～20:30

会場：オンライン

参加者：6名

内容

・初級編 助成金を知ろう

助成金申請にはじめて挑戦したい団体や、申請書の作成が苦手な団体向けに、団体の活動を対象とした助成金の探し方や読み解き方、申請書の書き方など、基礎から学ぶ講座です。

・中級編 助成金を活用しよう

助成金はビジョン達成のための大切なファンドレイジングです。助成団体・企業にもそれぞれ社会課題の解決のための目的があります。助成金は「普段の活動を助けるお金」「活動費がたらないからください」という「お金」ではなく「対価を得にくい事業を実施して成果を出すことを助けるお金」です。そして助成金を活用して人を育てたり、ノウハウを蓄積したり組織の基盤強化も目指していきます。

講師

藤岡喜美子 公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事

4) 講師派遣事業

(1) 日本工学院専門学校への講師派遣 通年

ITカレッジ情報ビジネス科にて、学生がグループに分かれ、地域や社会の

課題を解決するためのビジネスプランの作成を支援しました。

(2) 女性防災リーダー育成プログラム フォローアップ

場所：青森県民福祉プラザ大研修室

内容：助成金の獲得・活用ポイント講座・初級編

日時：2024年12月10日（日）10:00～12:00

講師：藤岡喜美子

(3) 蕨市協働セミナー

場所：蕨市役所

内容：協働の基礎知識 について

日時：2025年8月29日（金）14:00～16:00

講師：藤岡喜美子

5) コンサルティングの実施

フロントラインのサードセクター組織の経営者対し、成果を生み出す組織としての経営コンサルティングを実施しました。今期は多角的福祉サービスを創出するサードセクター組織を重点的にサポートしました。福島県、東京都、三重県、奈良県、兵庫県において実施いたしました。

コンサルティング実績：13 団体

多角的福祉サービスを創出する事業体：6 団体

特定非営利法人 a little

「つながる子育てアクションプラン」

NPO 法人子育て支援グループ amigo

「もっと マザリングベル」

認定特定非営利活動法人 ReBit

「多角的福祉サービスにより、LGBTQ の支援/啓発センターを全国に」

あたくす福祉型事業協同組合

「ダイバーシティ人材センター構想」

特定非営利活動法人いわき自立生活センター

「障がい者就労事業所が行うフードバンク活動」

特定非営利活動法人どんぐりの会

「こどもを産み育てたくなる子育てサービスの構築」

6) コンサルタント養成講座

日程：2025年3月1日（土）、15日（土） 9:30～18:00

場所：オンライン

参加者：2名

内容

ツリー型ロジック・モデル・シート（TLM）の作成支援ができ、ビジョンに共感し、サードセクター組織を寄り添い支援ができる人材の養成講座です。資格認定の条件を満たされた方は JACEVO 認定コンサルタントの認定証を交付します。

3. サードセクターの在り方に関する調査研究と提言事業

1) サードセクター形成状況調査

ツリー型ロジック・モデルシートの作成支援を行い、冊子作製のためのデータの収集を行いました。ソーシャルインパクト評価や作成方法に関しての執筆を始めました。法人17期に冊子公開予定です。

2) 政府などへの提言活動

大田区、蕨市にサードセクター組織との協働について提言いたしました。

こども家庭庁に対し、こども政策や事業の改善、NPOとの協働について、政策提言を行いました。

※サードセクターとは

企業・行政と並ぶ三番目のセクターとして存在感を示す必要があることを意図した表現です。具体的には、社団法人・財団法人（一般、公益）、社会福祉法人、学校法人、医療法人、宗教法人、厚生保護法人、協同組合、社会的企業、特定非営利活動法人、市民活動団体、地縁組織等を含めた、社会的課題を解決する広範な組織群を示しています。

Ⅲ 組織の運営に係る事項

1. 社員総会の開催

(1) 定期総会

日 時：2024年11月18日（月）18:00～19:00

場 所：パシオンTOKYO/オンライン

出席者：6名

定足数20名（正会員39名）に対し、出席者6名、議決権行使書4名、委任状17名、合計27名であるため、総会の成立を確認しました。

第1号議案 第15期事業報告の承認に関する件

議長は法人15期（自2023年9月1日～至2024年8月31日）における事業状況を法人15期事業報告（案）により、詳細に説明報告し、その承認を求めたところ、原案通り満場一致にて承認可決しました。

第2号議案 第15期決算報告の承認に関する件

議長は法人15期（自2023年9月1日～至2024年8月31日）における決算状況を法人15期決算報告書（案）において説明報告し、下記の書類を提出し、監査委員からの監査証明を提出し、その承認を求めたところ、原案通り、満場一致で承認可決しました。

- ・ 正味財産増減計算書
- ・ 正味財産増減計算書内訳書
- ・ 貸借対照表
- ・ 貸借対照表内訳書
- ・ 財務諸表に関する注記
- ・ 付属明細書
- ・ 財産目録
- ・ 監査証明

理事会の開催

(1) 第1回理事会

日時：2024年10月28日（月）19:00～20:00

場所：JACEVO 東海支部（名古屋市北区平安1-9-22）/オンライン

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席5名、欠席2名

報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされました。

審議事項：法人第16期総会議事について
法人第15期事業報告について
法人第15期決算報告について

（2）第2回理事会

日時：2025年4月23日（木）19:00～20:00

場所：JACEVO 東京本部（東京都大田区大森北二丁目3番15号）/オンライン

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席5名、欠席2名

報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされました。

協議事項：2025年10月総会にて役員の任意満了となるために、役員候補について意見交換を行いました。

法人17期の事業について意見交換を行った。

審議事項：休眠預金事業を申請することについて審議が行われ、全会一致で可決されました。

（3）第3回理事会

日時：2025年7月2日（水）19:00～20:00

場所：JACEVO 東海支部（名古屋市北区平安1-9-22）/オンライン

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名、

報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされました。

協議事項：公益信託法改正に伴う、啓発に関して意見交換を行いました。

（4）第4回理事会

日時：2025年8月26日（火）19:00～20:00

場所：JACEVO 東海支部（名古屋市北区平安1-9-22） / オンライン

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席3名、

審議事項：第17期事業計画（案）について

第17期予算（案）について

法人17期資金調達及び設備投資の見込みについて

3. その他

第16期事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」

が存在しないので作成しない。

令和7年10月

公益社団法人日本サードセクター経営者協会